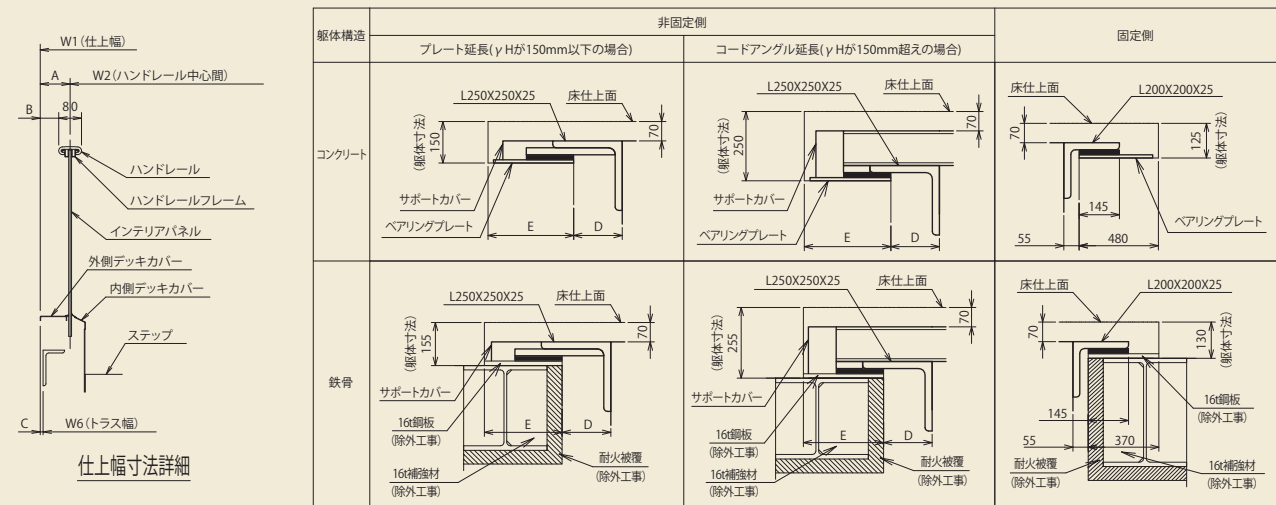
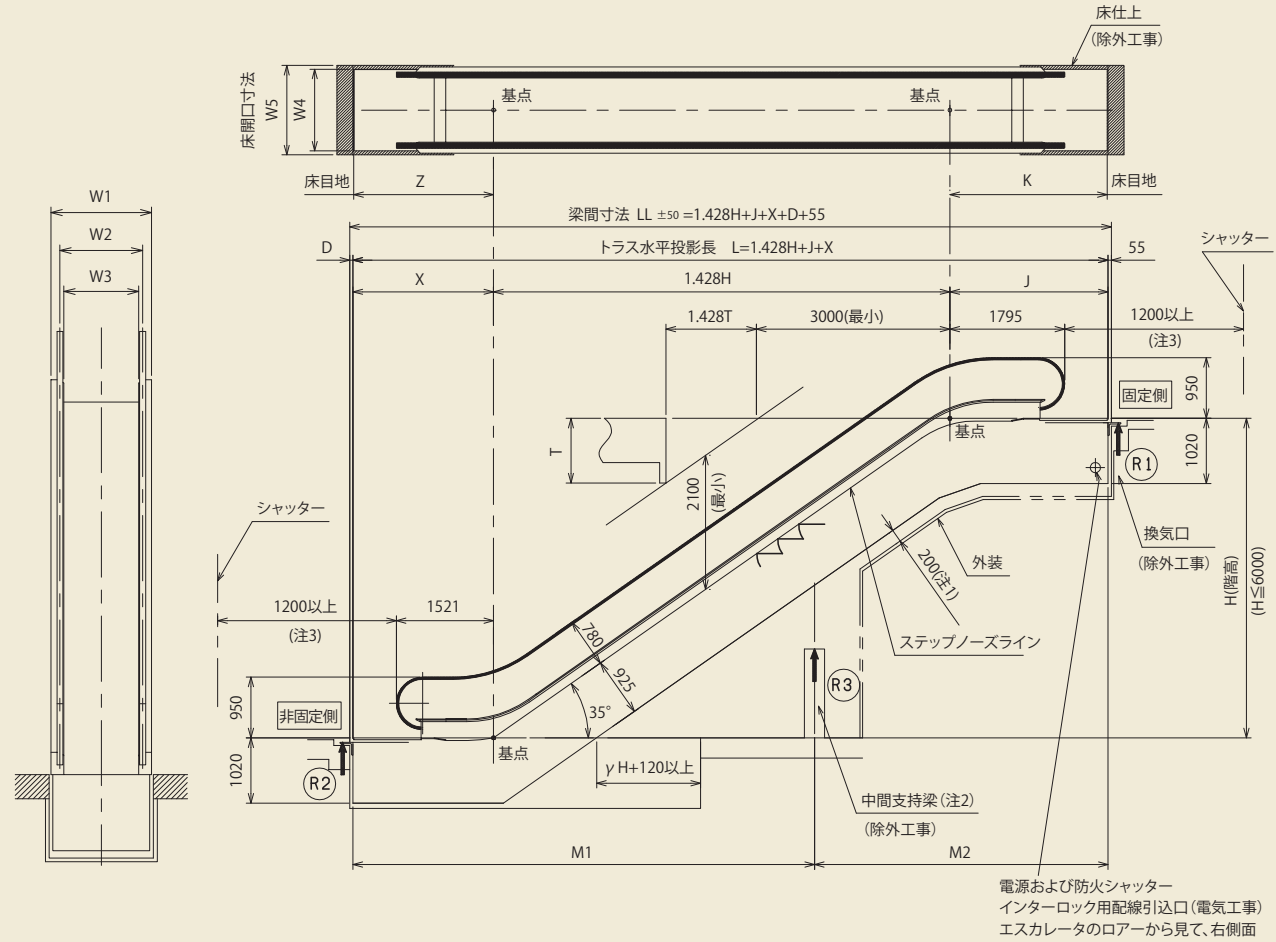


据付図・寸法表

35° Slimfit[S, F, Pタイプ]



受梁部詳細

寸法表

設置条件	適用	W1	A	B	C	
エスカレータ設置・・・単列、または並列 側面外装・・・・・・・・なし 隣接する建築壁や柱・・・なし	S600形 S,F,P	920	105	65	10	
	S800形 S,F,P	1120				
	S1000形 S,F,P	1320				
エスカレータ設置・・・単列、または並列 側面外装・・・・・・・・あり 隣接する建築壁や柱・・・なし	S600形 S,F,P	940	115	75	20	
	S800形 S,F,P	1140				
	S1000形 S,F,P	1340				
隣接する建築壁や柱・・・あり	S600形	S,P	950	120	80	25
		F	990	140	100	45
	S800形	S,P	1150	120	80	25
		F	1190	140	100	45
	S1000形	S,P	1350	120	80	25
		F	1390	140	100	45

隣接する建築壁や柱とは、ハンドレール中心からの距離(A)が120mm以内にあるものを示します。

形式	W2	W3	W4	W5	W6	J	K	X	Z
S600形	710	606	878	1000	900	2975	2961	2201	2187
S800形	910	806	1078	1200	1100	2475	2461		
S1000形	1110	1006	1278	1400	1300				

反力表

■2点支持の場合

H,M1の単位はメートル

H (階高)	水平ステップ	形式	R1 (アッパー支点反力) (kN)	R2 (ロアー支点反力) (kN)
6.0m以下	2枚 (標準)	S600形	6.5 H ² + 70.3 H + 148.6	6.5 H ² + 57.5 H + 143.1
			1.428H + 5.176	1.428H + 5.176
		S800形	7.2 H ² + 71.1 H + 139.1	7.2 H ² + 58.1 H + 128.4
			1.428H + 4.676	1.428H + 4.676
		S1000形	8 H ² + 76.6 H + 149.3	8 H ² + 63.3 H + 138.1
			1.428H + 4.676	1.428H + 4.676

■3点支持の場合

H,M1の単位はメートル

H (階高)	水平ステップ	形式	R1 (アッパー支点反力) (kN)	R3 (中間支持支点反力) (kN)	R2 (ロアー支点反力) (kN)
6.0m以下	2枚 (標準)	S600形	6.5 H ² + 70.3 H - 9.1 HM1 + 3.2 M1 ² - 49.3 M1 + 144.5	6.5 H ² + 54.4 H - 9.1 HM1 + 3.2 M1 ² - 38.2 M1 + 110.3	3.2 M1 ² + 3.9 M1
			1.428H - M1 + 5.176	1.428H - M1 + 5.176	M1
		S800形	7.2 H ² + 71.1 H - 10.1 HM1 + 3.6 M1 ² - 49.8 M1 + 134.8	7.2 H ² + 54.5 H - 10.1 HM1 + 3.6 M1 ² - 38.2 M1 + 98.3	3.6 M1 ² + 4.8 M1
			1.428H - M1 + 4.676	1.428H - M1 + 4.676	M1
		S1000形	8 H ² + 76.6 H - 11.1 HM1 + 3.9 M1 ² - 53.7 M1 + 144.2	8 H ² + 59.2 H - 11.1 HM1 + 3.9 M1 ² - 41.5 M1 + 106.8	3.9 M1 ² + 5.1 M1
			1.428H - M1 + 4.676	1.428H - M1 + 4.676	M1

受梁部寸法表

yH[mm]	プレート延長(yHが150mm以下の場合)			コードアングル延長(yHが150mm超えの場合)		
	80以下	80超え120以下	120超え150以下	150超え200以下	200超え250以下	250超え300以下
D	135	175	205	255	305	355
E	コンクリート	420	500	560	660	860
	鉄骨	320	400	460	560	760

y: エスカレータの設計用層間変形角

※外装に落下防止フェンス等が付く場合は、ご相談ください。

※中間支持要の場合は、ご相談ください。

※屋外仕様でインバータ付の場合は建屋にてインバータ設置用のスペースを要します。

※屋外に設置する場合は、別途ご相談ください。

※速度が30m/minを超える場合、2速度運転や反射型ビームセンサー式省エネ運転装置仕様となる場合はL寸法が大きくなる場合がありますので、ご相談ください。

(注1) エスカレータ外装と外装面の間に底部照明がない場合、200→100となります。

(注2) L寸法が1380を超える場合は、中間支持梁が必要となります。中間支持梁がある場合、支持梁間寸法(M1、M2)は1100以下となります。

(注3) ハンドレール折り返し部の先端から2m以内に対面するシャッターがある場合は、エスカレータの運転をシャッターに連動して停止する構造にする必要があります。